サッシにも取り付けられる!

サッシゲイト

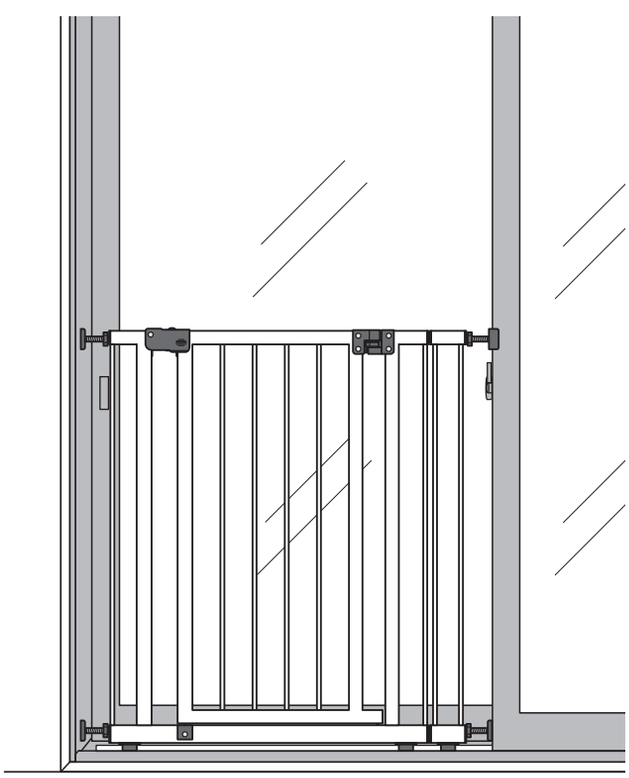
拡張フレーム1本つき

階段上ではご使用になれません。

取付け幅：74～92cm

対象年齢　6ヵ月～満2歳まで

■本体サイズ：幅73×高さ92.5×奥行3cm
■重　量：約5.7 kg（本体+拡張フレーム）
■材　質：スチール、ABS樹脂、ナイロン
■生産物賠償責任保険つき



取扱説明書

大切に保管してください

●このたびは「サッシゲイト」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
この「取扱説明書」をよくお読みのうえ正しくお使いください。また、組み立てる前に部品がすべてそろっているか確認してください。
●取扱説明書は、ご使用になる方が、いつでもご覧になれる場所に大切に保管してください。

目　次

●お使いになる前に
⚠設置禁止場所……1
⚠設置できるサッシ……1
⚠設置できる壁面……2
⚠安全上のご注意……3
⚠危険……3
⚠警告……4
⚠注意……5
●取り付け方法
各部の名称と部品構成……6
取り付け幅と拡張フレームの接続……7
サッシ用取付ボルトについて……7
サッシに設置する（サッシ用ボルト使用）……9
サッシに設置する（通常ボルト使用）……13
室内壁面に設置する……15
●安全点検とお手入れ……17
●広い間口への設置（別売部品）……17
●ご使用方法……18

保証書裏面添付

⚠重要

本製品は、お客様による設置・調整・メンテナンスが必要な商品です。
本書をよくお読みの上、正しくお取り扱いください。

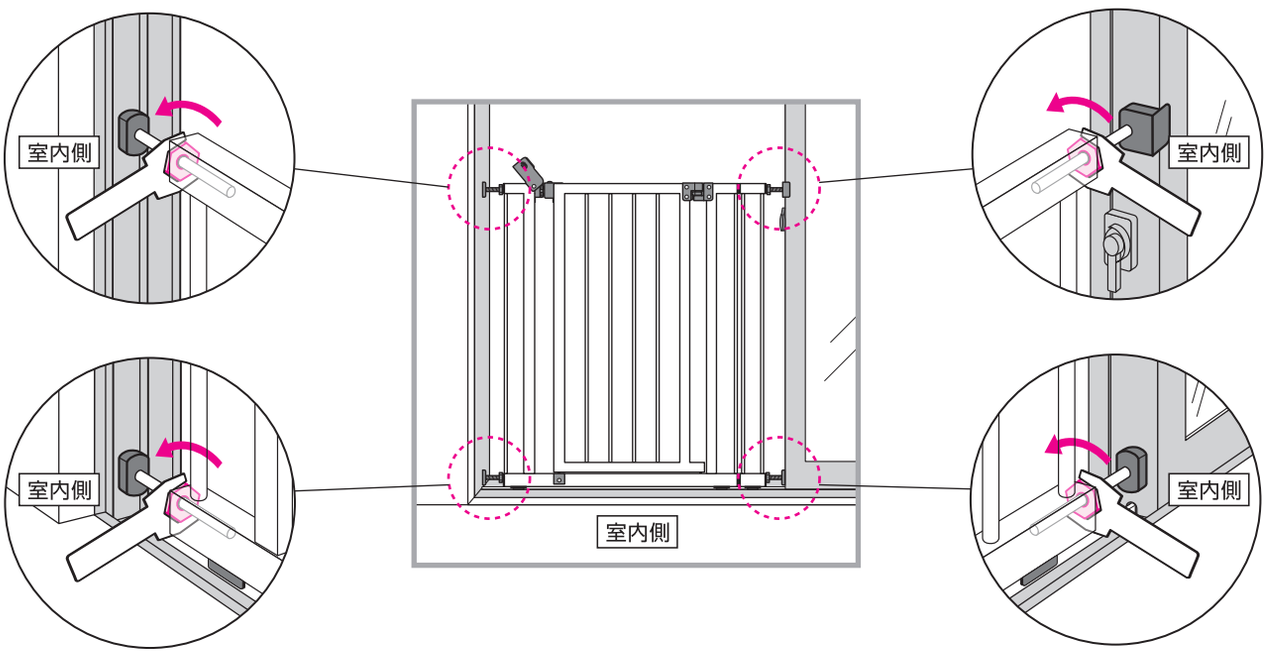
ベビーのために、世界から。

Nihon ikuji

⚠ **注意** ゲイトを設置することにより、サッシやサッシ枠に傷が付く場合があります。ご了承の上ご使用ください。

④調節ノブをしっかりと締めてゲイトを固定します。

●図のように、仮留めにしていた調節ノブを、レンチでしっかりと締めつけてサッシに固定します。
※調節ノブは、かたよりがないように、上下･左右バランス良く締めてください。

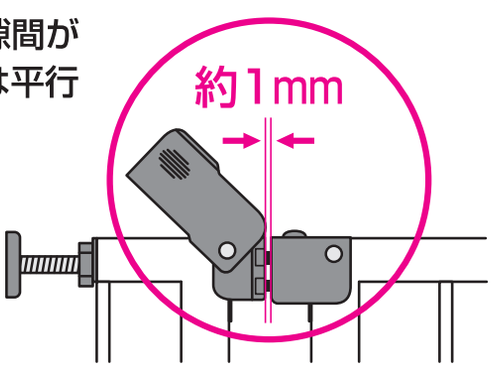


⚠ **警告**

調節ノブを締めつける際、上部のロックピンの隙間が締まりすぎ、開きすぎのないように、また隙間は平行になるように注意してください。<右図参照>

●隙間が締まりすぎの場合
ドアパネルが開閉出来ません。

●隙間が開きすぎの場合
ロックがかからず大変危険です。



⚠ **警告**

必ず、調節ノブを締めた後、本体がしっかり固定されているか、グラグラしていないか、全てのロックピンがしっかりとかかるか、よく確認してください。

⚠ **警告**

設置後、必ずもう一度、サッシの開閉が支障無くできること、また解錠･施錠できることを確認してください。問題があれば取り付け直してください。取り付け直してもサッシの開閉、解錠･施錠に支障がある場合は使用を中止してください。

⚠設置場所について

本製品を取り付ける前に、下記の「設置禁止場所」「設置できるサッシ」
「設置できる壁面」をよくご理解の上、適切に設置して、正しくご使用ください。

設置禁止

⚠設置禁止場所

右に記載の場所、
及び取り付け方では
設置できません。

⚠設置できるサッシ

以下のすべての条件に合致するサッシには設置が可能です。
必ず、設置するサッシの間口・材質・強度・形状などを確認してください。

- **片側間口74～92cmのアルミ製サッシ（樹脂アルミ複合タイプは不可）**
  ※別売拡張フレーム・ワイドパネルを使用すれば最大122cmまで設置可能。
- **2枚引き違いサッシの掃き出し窓**（テラスタイプ）※図1参照
- **厚さ2.5mm以下の下部レールがあるサッシ** ※図2参照
- **幅30mm以上のスペースがあるサッシ枠** ※図3参照
  （取付ボルトでゲイトを固定するために必要なスペース）

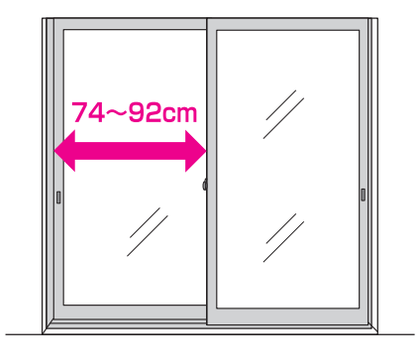


図1：2枚引き違いサッシの掃き出し窓
（テラスタイプ）

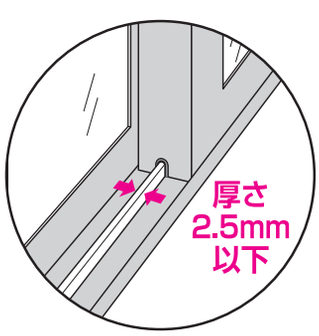


図2：下部レールがあるサッシ

図3：取付ボルトのスペースが
あるサッシ枠

⚠**注意** サッシの形状によっては設置できない場合があります。

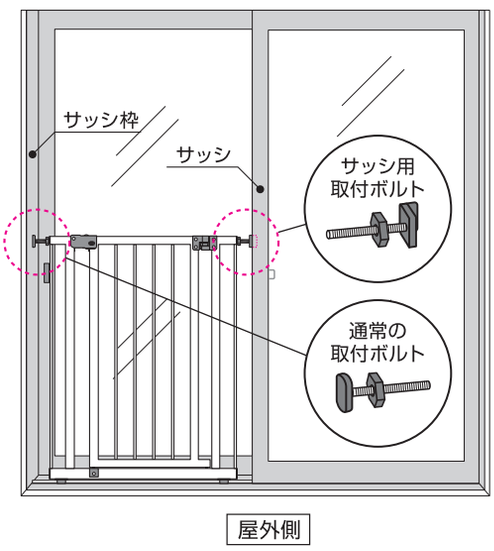
サッシ用取付ボルト使用 屋外側サッシに設置する

取り付け手順 ※手順はおもに拡張フレーム使用時の図で説明しています。

①取付ボルトをゲイトに差し込みます。※取付ボルトの種類にご注意ください。

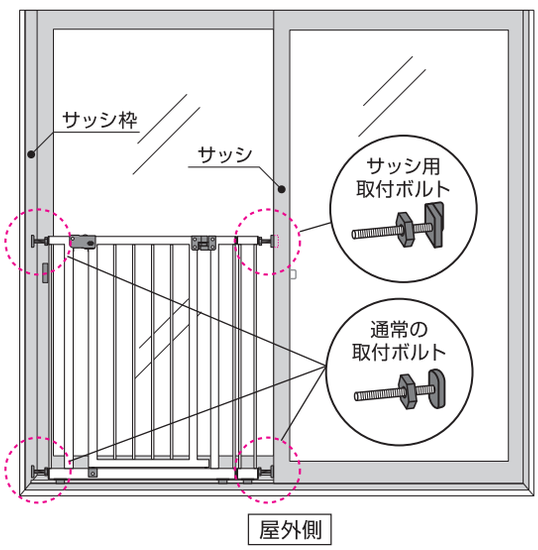
A 拡張フレームを使用しない場合

❶本体フレーム側面上部の穴(2ヵ所)に、調節ノブを付けた取付ボルトを差しこみます。
❷図のように、サッシ側にはサッシ用取付ボルトを、サッシ枠側には通常の取付ボルトを差し込みます。
※下部の取付ボルトは不要です。



B 拡張フレームを使用する場合

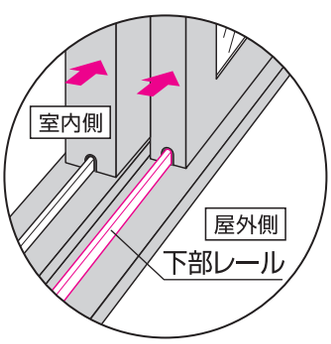
❶本体フレームと拡張フレームの側面上下の穴(計4ヵ所)に、調節ノブを付けた取付ボルトを差し込みます。
❷図のように、サッシ側の上部穴にはサッシ用取付ボルトを、他の3ヵ所には通常の取付ボルトを差しこみます。

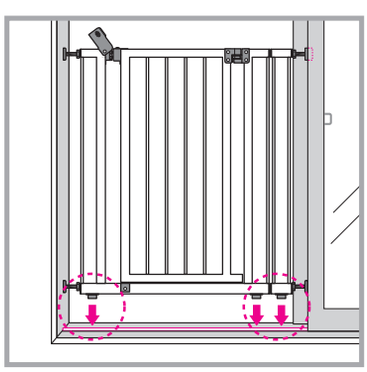


②レールガイドをサッシの屋外側の下部レールにハメ込みます。

⚠注意 7ページの説明をよくお読みの上、レールガイドの向きに注意してください。

❶窓を2枚とも全開にします。
❷ロックカバーを上げます。
❸図のように、レールガイドを屋外側の下部レールに、真上方向から最後までハメ込みます。
※レールが破損する場合がありますので、レールガイドをレールにハメ込んだ状態で、ゲイトを前後に傾けないでください。



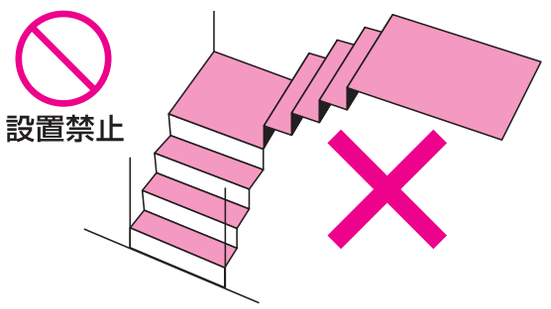


③調節ノブを手で軽く締めて、ゲイトを仮留めします。

❶調節ノブを、手で上下・左右バランス良く締めて行き、ゲイトを仮留めします。
❷仮留めの状態で下記のことを確認し、問題がなければ④に進み、調節ノブをしっかりと締めてください。
★レールガイドがレールにしっかりと最後までハメ込まれているか？
★ゲイトが水平・垂直で傾きがないか？
★サッシの開閉、解錠・施錠に支障がないか？

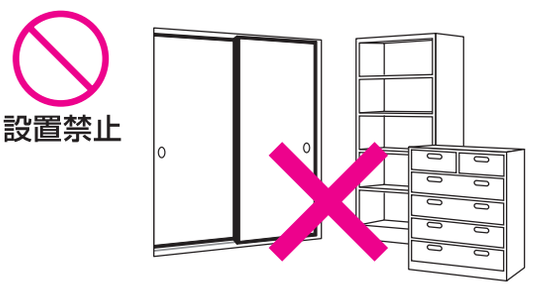
階段や段差の上

階上（降り口）、階段おどり場、階段途中、
また、段差の上には設置できません。



室内建具や家具

室内建具（ふすま・障子等）や家具など、完全に固定
できない物を利用しての取り付けはできません。

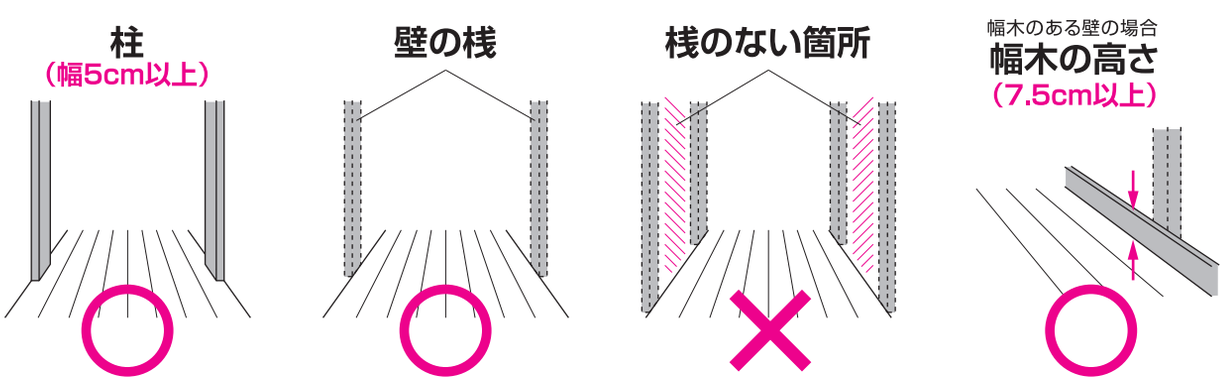


⚠設置できる壁面

以下のすべての条件に合致する壁面には設置が可能です。
必ず、設置する壁面の間口・材質・強度・形状などを確認してください。

- **間口74～92cmの平行に向かい合う壁面や柱**
- **凸凹がない水平な床面**
- ボルトの突っ張りに耐えられる**丈夫な壁面や柱**
- 壁面材がベニヤや石膏ボードの場合は**必ず桟のある箇所**※注1

⚠注意 桟のない箇所に取り付けると、壁面が破損するおそれがあります。

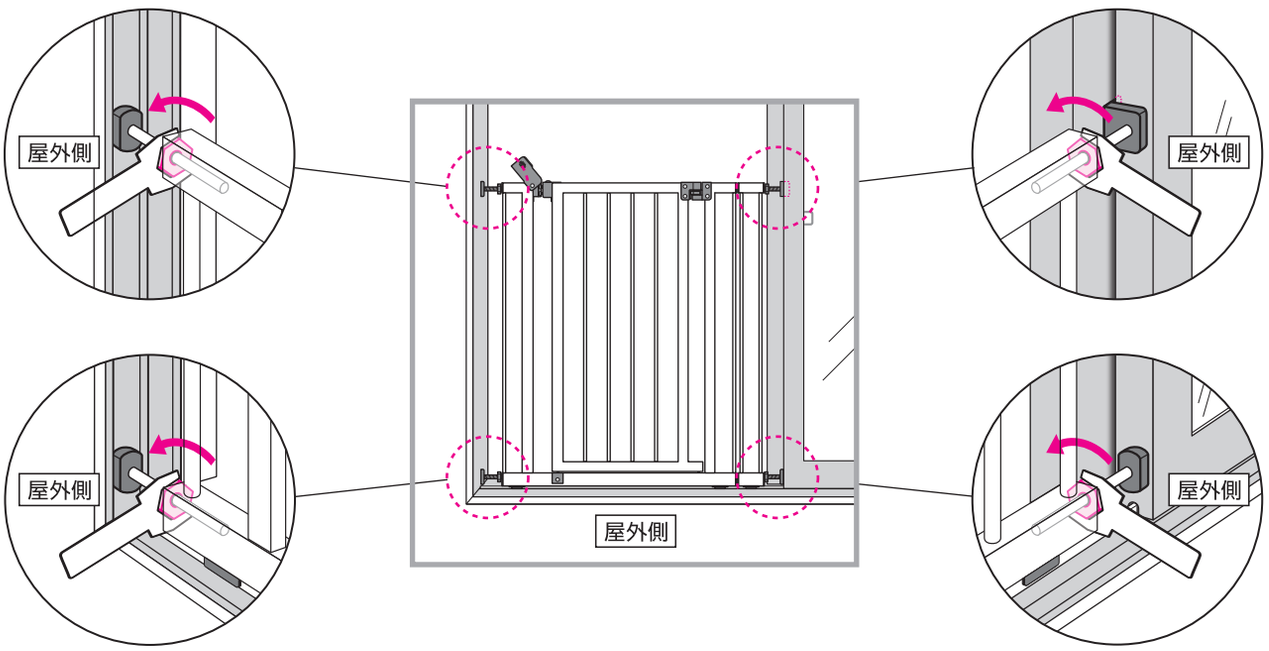


※注1：壁面に隠れた桟の確認は、市販の桟探知機をお使いいただくか、お近くの工務店にご相談ください。

⚠ **注意** ゲイトを設置することにより、サッシやサッシ枠に傷が付く場合があります。ご了承の上ご使用ください。

④調節ノブをしっかりと締めてゲイトを固定します。

●図のように、仮留めにしていた調節ノブを、レンチでしっかりと締めつけてサッシに固定します。
※調節ノブは、かたよりがないように、上下･左右バランス良く締めてください。

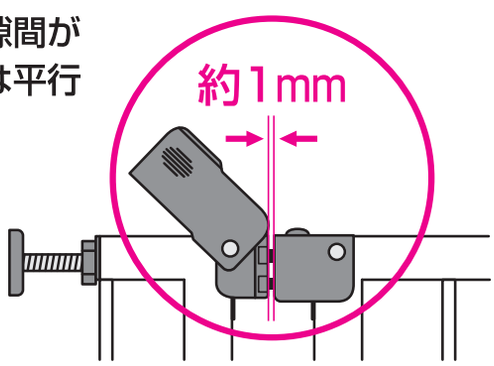


⚠ **警告**

調節ノブを締めつける際、上部のロックピンの隙間が締まりすぎ、開きすぎのないように、また隙間は平行になるように注意してください。<右図参照>

●隙間が締まりすぎの場合
ドアパネルが開閉出来ません。

●隙間が開きすぎの場合
ロックがかからず大変危険です。



⚠ **警告**

必ず、調節ノブを締めた後、本体がしっかり固定されているか、グラグラしていないか、全てのロックピンがしっかりとかかるか、よく確認してください。

⚠ **警告**

設置後、必ずもう一度、サッシの開閉が支障無くできること、また解錠･施錠できることを確認してください。問題があれば取り付け直してください。取り付け直してもサッシの開閉、解錠･施錠に支障がある場合は使用を中止してください。

安全のため必ずお守りください

安全に使用していただくための重要な項目ですので必ずお読みください。

お使いになる前に

■ここに示した事項は、安全に関する重大な内容の記載です。
表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示の欄は、「死亡や重傷などを負う危険が切迫して想定される」内容です。
⚠ **警告**	この表示の欄は、「死亡や重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ **注意**	この表示の欄は、「傷害や物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

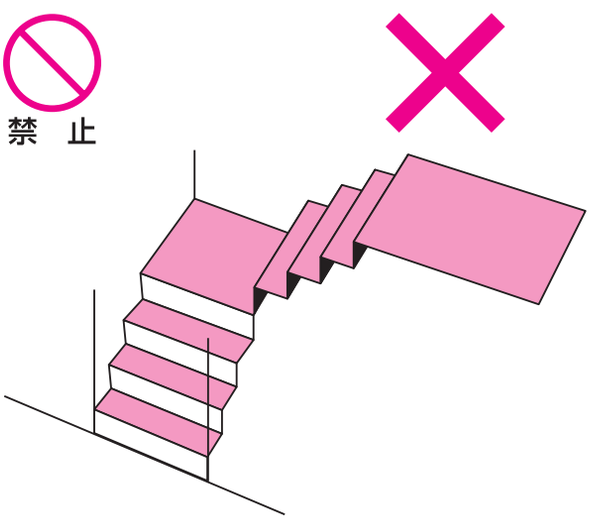
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⚠	この絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。
⃠	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 危険 取り扱いを誤ると、死亡や重傷などを負う危険が切迫して想定されます。

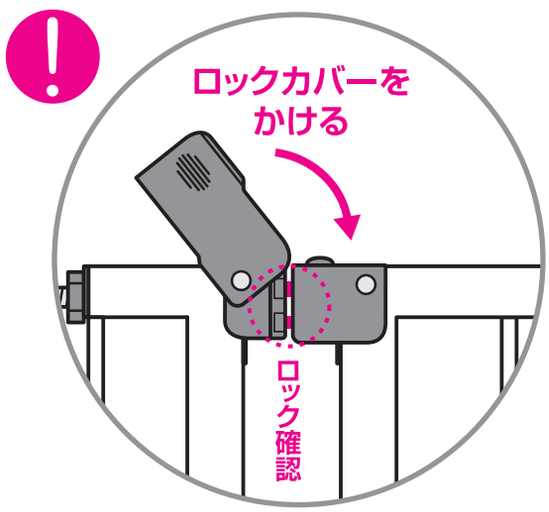
⚠ 本製品は必ず保護者のもとでご使用ください。取付けた後もお子様の安全には十分ご注意ください。

階段の上や、段差の上には、絶対に設置しないでください。



誤って扉が開いた場合、階段や段差の上から転げ落ちる原因となります。

扉を閉じた後、確実に閉まっている事を確認の上、必ずロックカバーをかけてください。



ロックカバーをかけていないと、扉が開いた場合、思わぬ事故の原因となり、大変危険です。

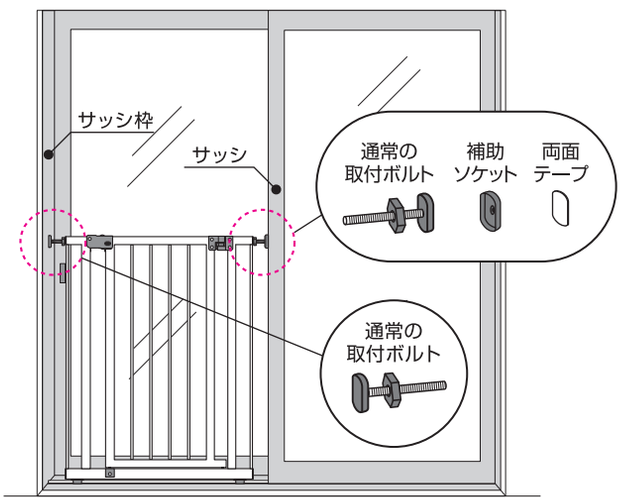
通常の取付ボルト使用 サッシに設置する

取り付け手順 ※室内側・屋外側とも取り付け方は同じです。 ※手順はおもに拡張フレーム使用時

①取付ボルトをゲイトに差し込みます。※1ヵ所だけ補助ソケットを使用します。

A 拡張フレームを使用しない場合

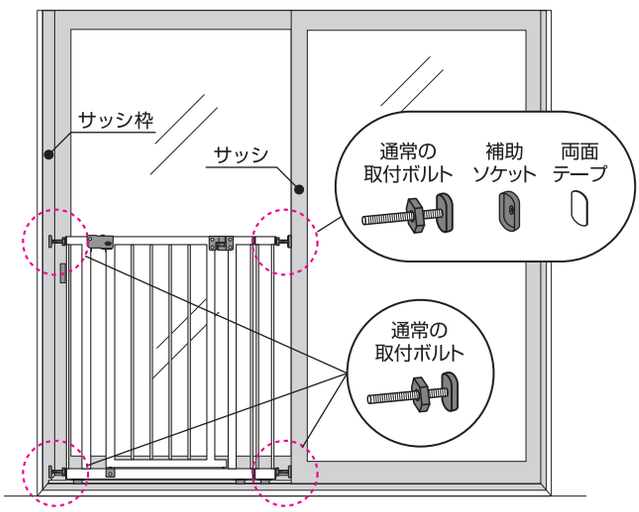
❶本体フレーム側面上部の穴(2ヵ所)に、調節ノブを付けた取付ボルトを差しこみます。
❷図のように、サッシ側の上部ボルトには補助ソケットを使用します。(補助ソケットにはあらかじめ両面テープを貼っておきます)
※下部の取付ボルトは不要です。



室内・屋外共通

B 拡張フレームを使用する場合

❶本体フレームと拡張フレームの側面上下の穴(計4ヵ所)に、調節ノブを付けた取付ボルトを差し込みます。
❷図のように、サッシ側の上部ボルトには補助ソケットを使用します。(補助ソケットにはあらかじめ両面テープを貼っておきます)

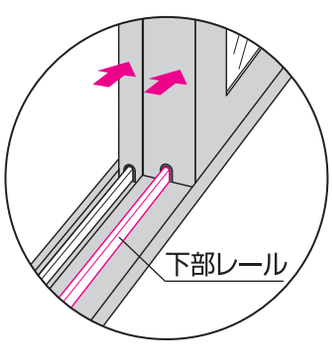


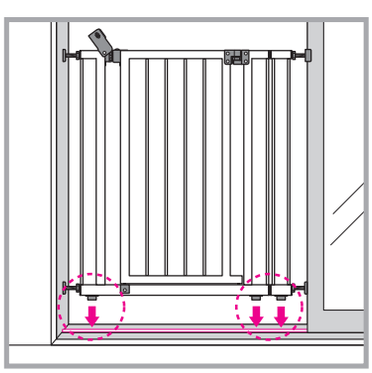
室内・屋外共通

②レールガイドをサッシの下部レールにハメ込みます。

⚠注意 7ページの説明をよくお読みの上、レールガイドの向きに注意してください。

❶窓を2枚とも全開にします。
❷ロックカバーを上げます。
❸図のように、レールガイドを下部レールに、真上方向から最後までハメ込みます。
※レールが破損する場合がありますので、レールガイドをレールにハメ込んだ状態で、ゲイトを前後に傾けないでください。





③調節ノブを手で軽く締めて、ゲイトを仮留めします。

❶調節ノブを、手で上下・左右バランス良く締めて行き、ゲイトを仮留めします。
❷仮留めの状態で下記のことを確認し、問題がなければ④に進み補助ソケットをサッシに貼付けてください。
★レールガイドがレールにしっかりと最後までハメ込まれているか?
★ゲイトが水平・垂直で傾きがないか?
★サッシの開閉、解錠・施錠に支障がないか?(支障がある場合は、屋外側に設置してください)

⚠警告 取り扱いを誤ると、死亡や重傷などを負う可能性が想定されます。

対象年齢未満、もしくは対象年齢より大きいお子さまには、絶対に使用しないでください。

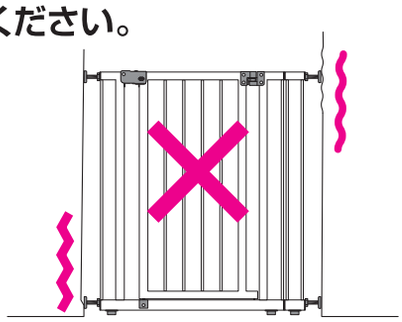
対象年齢:6ヵ月～満2歳まで

禁　止

対象年齢に満たない乳児や、対象年齢を超えた幼児に使用すると、お子さまの思わぬ動きにより、重大な事故につながるおそれがあります。

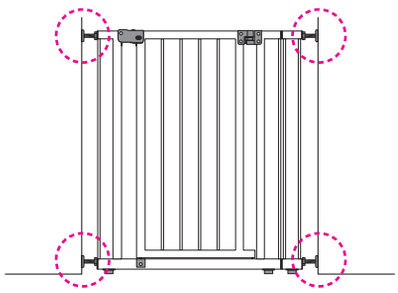
ゲイトを完全に固定できない場所では使用しないでください。

禁　止



ゲイトが倒れたり、扉が完全に閉まらないなど、重大な事故の原因となります。確実に固定できる場所に設置しなおしてください。

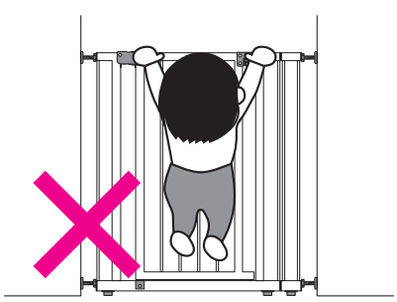
ご使用になる前に、ゲイトにガタツキなどがないか、常に点検を行なってください。



ご使用中に取り付けボルトがゆるんでくる場合があり、事故の原因となります。常に、ゲイトが正しく設置されていることを確認してください。

ゲイトに寄りかかったり、扉にぶらさがったりしないでください。

禁　止



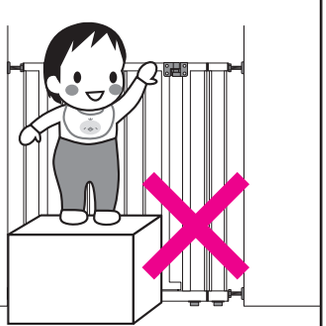
破損の原因となり、
重大な事故につながるおそれがあります。

お子さまが、ゲイトに登ったり、ロックカバーを開けられるようになったら、使用を中止してください。

対象年齢内のお子様でも、成長の度合により、危険になる場合があります。保護者の方の判断で、使用を中止してください。

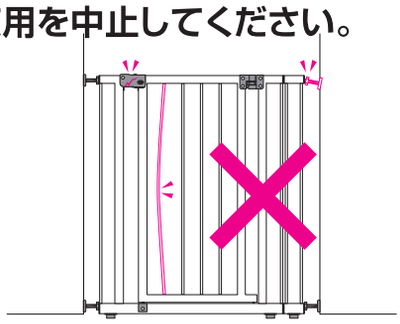
ゲイトの近くに踏み台になるような物を置かないでください。

禁　止



お子さまがゲイトに
登って転落するなど、
重大な事故につながる
おそれがあります。

ゲイト本体や部品が破損したら、ただちに使用を中止してください。



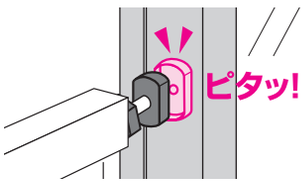
破損部位でのケガのほか、ゲイトが倒れたり、扉が完全に閉まらないなど、重大な事故の原因となります。

⚠ **注意** ゲイトを設置することにより、サッシやサッシ枠に傷が付く場合があります。ご了承の上ご使用ください。

の図で説明しています。

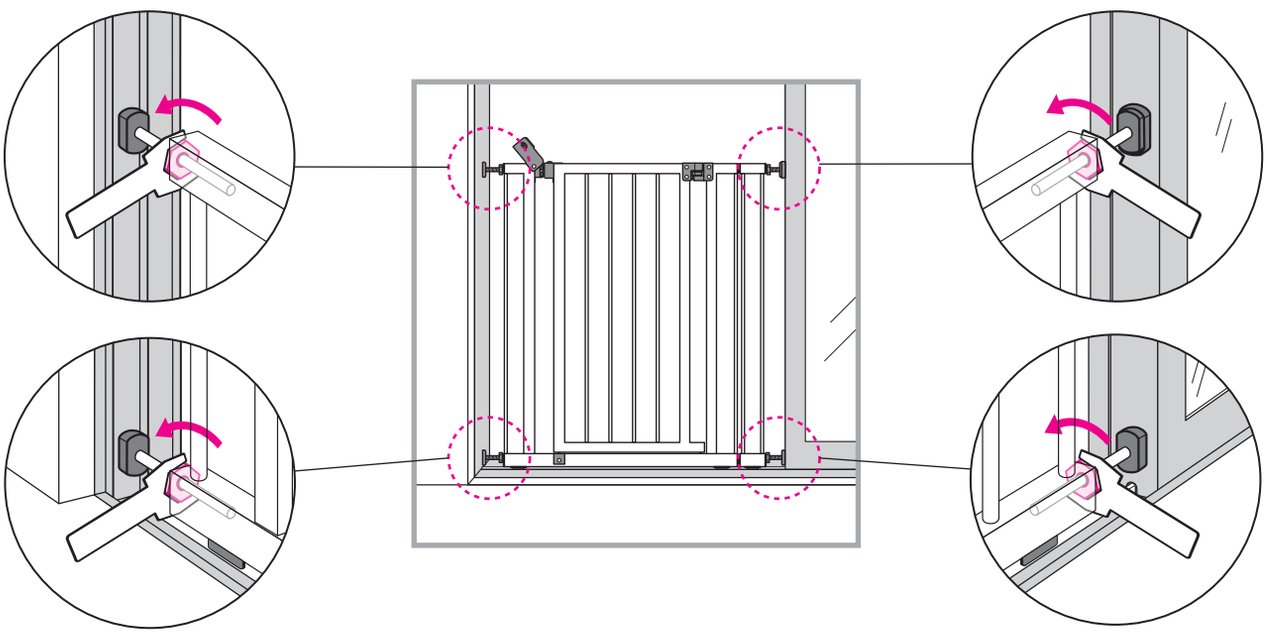
④補助ソケットをサッシに貼付けます。

❶サッシ側の上部ボルトをゆるめ、補助ソケットを貼る位置を決めます。
❷両面テープの離型紙をはがし、補助ソケットをサッシに貼付けます。



⑤調節ノブをしっかりと締めてゲイトを固定します。

●図のように、仮留めにしていた調節ノブを、レンチでしっかりと締めつけてサッシに固定します。
※調節ノブは、かたよりがないように注意しながら、上下･左右バランス良く締めてください。

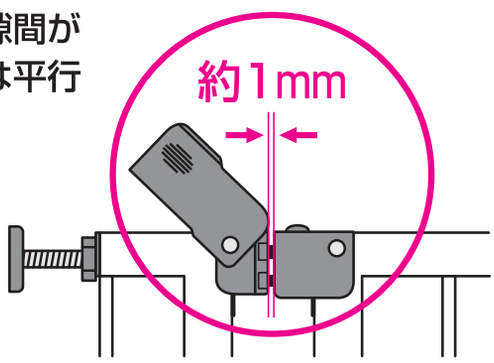


⚠ **警告**

調節ノブを締めつける際、上部のロックピンの隙間が締まりすぎ、開きすぎのないように、また隙間は平行になるように注意してください。<右図参照>

●隙間が締まりすぎの場合
ドアパネルが開閉出来ません。

●隙間が開きすぎの場合
ロックがかからず大変危険です。



⚠ **警告**

必ず、調節ノブを締めた後、本体がしっかり固定されているか、グラグラしていないか、全てのロックピンがしっかりとかかるか、よく確認してください。

⚠ **警告**

設置後、必ずもう一度、サッシの開閉が支障無くできること、また解錠･施錠できることを確認してください。問題があれば取り付け直してください。取り付け直してもサッシの開閉、解錠･施錠に支障がある場合は使用を中止してください。

安全のため必ずお守りください

お使いになる前に

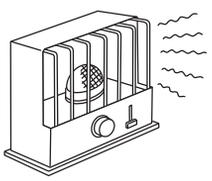
⚠注意 取り扱いを誤ると、傷害や物的損害が発生するおそれがあります。

扉の開閉の際は、近くにお子さまがいない事を確認してください。

手指をはさむなど、お子さまがケガをするおそれがあります。

暖房器具や火気の近くには設置しないでください。また直射日光のあたる場所ではゲイトが熱くなる事がありますので、やけどに注意してください。

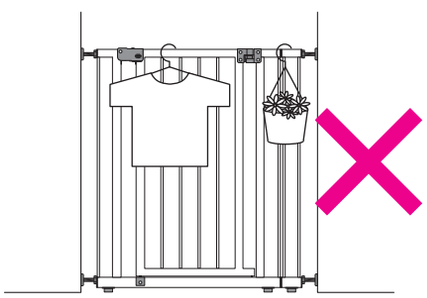
禁　止



変形や破損、やけどの原因となります。

ゲイトに物を引っかけたり、載せたりしないでください。

禁　止



破損や事故につながるおそれがあります。

【お願い】
できるだけ軒下や天井のある、ベランダ等の直接雨のかかりにくい場所に設置してください。

破損や腐食の原因となる場合があります。

その他の注意事項と、正しくお使いいただくためのお願い。

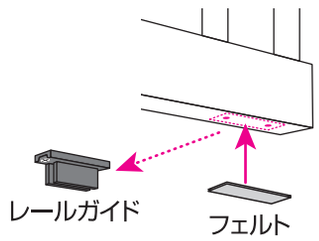
- ●本製品は、必ず取扱説明書の指示にしたがい、正しくご使用ください。
- ●本製品の組み立て・取り付けは、必ず保護者の方が正しく行なってください。
- ●必ず保護者のもとでご使用ください。本製品を取付けた後も、お子様の安全には十分ご注意ください。
- ●本製品は、必ず壁・床面が水平な場所に取付け、製品の底面を床面にしっかり接地させてください。
- ●壁の材質によっては本製品が取り付けられなかったり、本製品の取り付けにより、壁・壁紙などが破損する場合があります。必ず壁や壁紙の材質と強度を確かめたうえで取り付けてください。
- ●本製品の取り付けにより、サッシやサッシ枠、壁や柱に傷が付く場合があります。ご了承の上ご使用ください。
- ●開梱したあと、ただちに箱や袋をお子さまの手の届かないところに保管、または廃棄してください。
- ●ご使用にならない部品は、お子さまの手の届かないところに保管してください。

室内壁面に設置する

取り付け手順　※手順はおもに拡張フレーム使用時の図で説明しています。

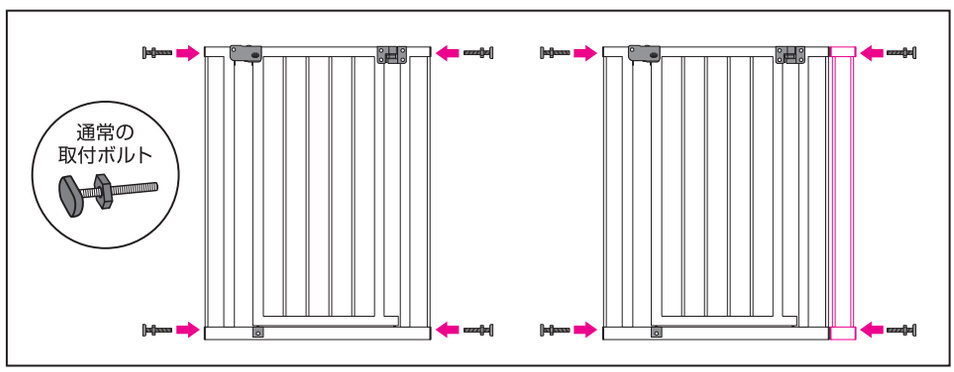
①レールガイドを外し、外した跡にフェルトを貼ります。

❶本体フレームと使用する拡張フレームの底面にある、すべてのレールガイドを、プラスドライバーで外します。
❷外した跡に、付属のフェルト（床面保護用）を貼ってください。
※フェルトを貼らずに設置すると床面に傷がつきます。



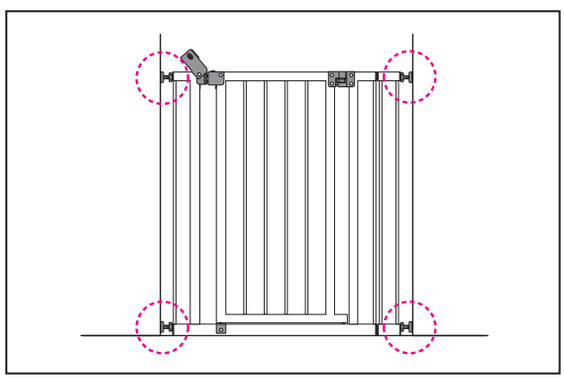
②取付ボルトをゲイトに差し込みます。

●本体フレームあるいは拡張フレームの側面上下の穴（計4ヵ所）に、調節ノブを付けた通常の取付ボルト4本を差し込みます。



③ゲイトを設置場所に仮留めします。

❶ロックカバーを上げ、設置する場所の床にゲイトを立てて置きます。
❷ゲイトを支えながら、調節ノブを手で上下・左右バランス良く締めて行き、ゲイトを仮留めします。

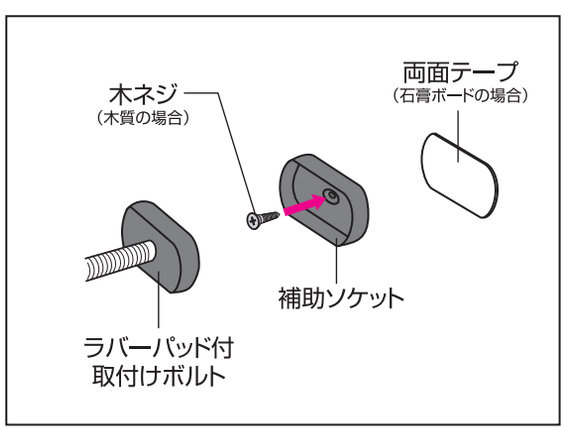


⚠警告　必ず本体フレームの底面が床面と接するように取り付けてください。本体フレームが床面から離れていると、確実な取付けができず、ゲートが外れたりするおそれがあり危険です。

④より強く固定する場合は、補助ソケットをご使用ください。

取付ボルトと壁が接する場所に、補助ソケットを取付けると、より強く固定できます。補助ソケットは、壁が石膏ボードの場合、両面テープをご使用ください。また、壁が木質の場合は、木ネジをご使用ください。

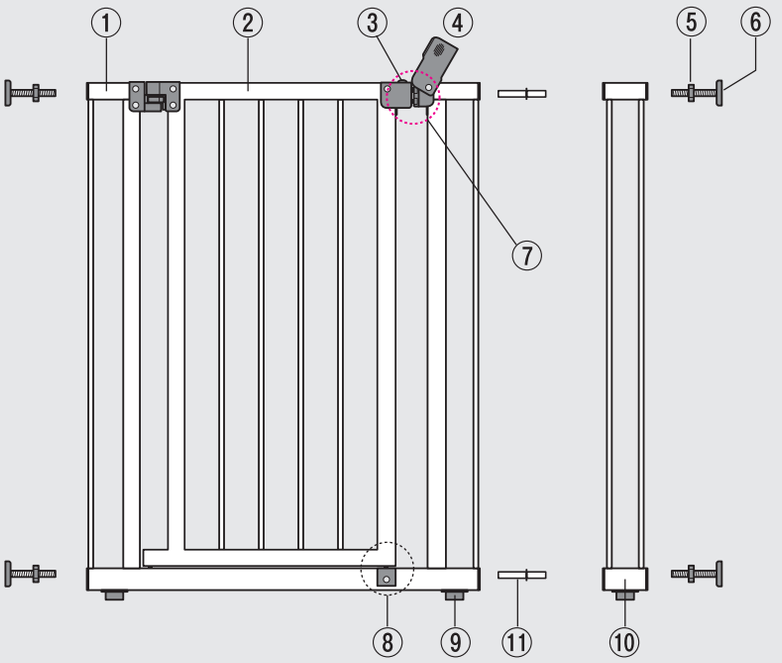
⚠注意　補助ソケットを取付ける前に、必ず壁の材質、強度を確かてください。両面テープによる壁紙のはがれ、木ネジによる穴あきはご了承の上ご使用ください。



各部の名称と部品構成

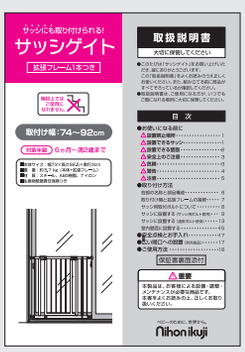
各部の名称

① 本体フレーム
② ドアパネル
③ ロックカバー
④ ロック解除ボタン
⑤ 調節ノブ
⑥ 取付ボルト（ラバーパッド付）
⑦ 上部ロックピン
⑧ 下部ロックピン
⑨ レールガイド
⑩ 拡張フレーム（付属…1本）
⑪ 拡張ピン

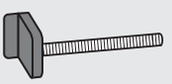


付属部品内容

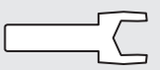
●取扱説明書（本書）



通常取付ボルト
（ラバーパッド付）
4本


サッシ用取付ボルト
（ラバーパッド付）
1本

調節ノブ
4個


調節ノブ用レンチ
1個

補助ソケット
4個

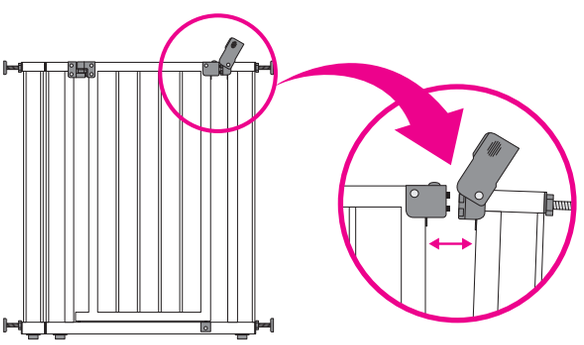
両面テープ
（補助ソケット用）
4枚

拡張ピン
2本

木ネジ
4本

フェルト
（床面保護用）
3枚

注意

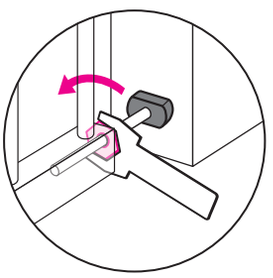


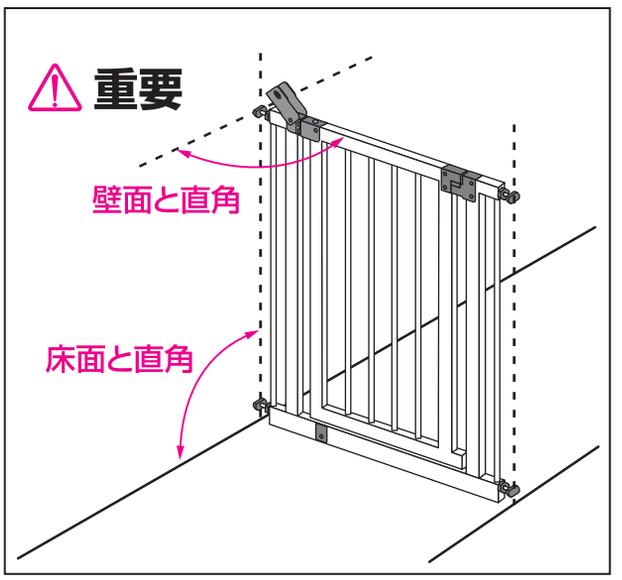
お買上げ頂きました商品の本体フレーム（各部の名称①）の上部ロック部分⑦は、構造上少し開いております。
取り付けの際に、調節ノブを締めていくと壁に突っ張りすき間は小さくなります。

⚠ **注意** ゲイトを設置することにより、壁や柱に傷が付く場合があります。ご了承の上ご使用ください。

⑤本体フレームが壁面・床面と直角であることを確認し、調節ノブをしっかりと締めてゲイトを固定します。

❶右図のように、必ず、ゲイトが壁面と床面に対して直角であることを確認してください。直角で無い場合は、もう一度取り付けをやり直してください。
❷下図のように、仮留めにしていた調節ノブを、レンチでしっかりと締めつけてサッシに固定します。
※調節ノブは、かたよりがないように、上下･左右バランス良く締めてください。



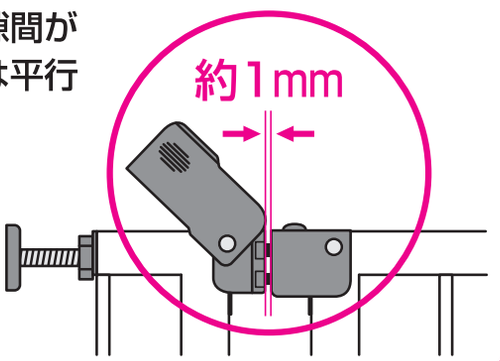


⚠ 警告

調節ノブを締めつける際、上部のロックピンの隙間が締まりすぎ、開きすぎのないように、また隙間は平行になるように注意してください。<右図参照>

●隙間が締まりすぎの場合
ドアパネルが開閉出来ません。

●隙間が開きすぎの場合
ロックがかからず大変危険です。



⚠ 警告

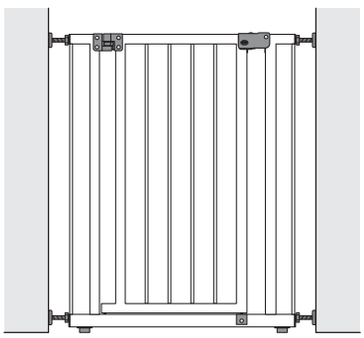
必ず、調節ノブを締めた後、本体がしっかり固定されているか、グラグラしていないか、全てのロックピンがしっかりとかかるか、よく確認してください。

取り付け幅と拡張フレームの接続

①本製品を取付ける場所の間口寸法を測ります。
②下図を参照し、あてはまる形式に本製品を組立てます。

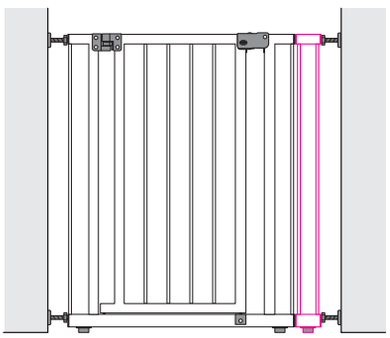
拡張フレームなし

74~84cmの場合



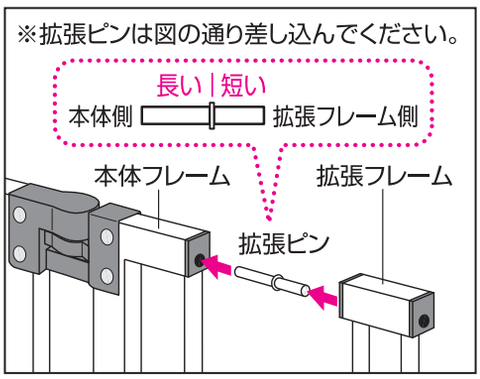
拡張フレーム1本使用

84~92cmの場合



拡張フレームの接続方法

本体フレーム側面の穴(上下)に拡張ピンを差し込み、拡張フレームを接続します。
※拡張フレームは本体フレームのどちら側でも接続できます。



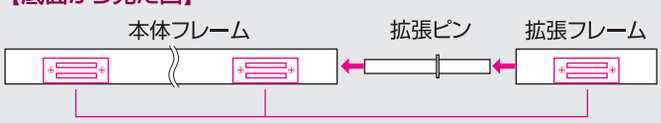
⚠重要 レールガイドの向きについて

⚠注意

レールガイド(フレーム底面に付属)の向きは、サッシに設置する際に大変重要です。拡張フレームを接続して使用する場合、ゲイト本体のみで使用する場合でも、下記の注意事項をよくお読みの上、正しく接続し正しい向きで設置してください。

1 拡張フレームを接続する場合は、必ずレールガイドの向きを合わせてください。

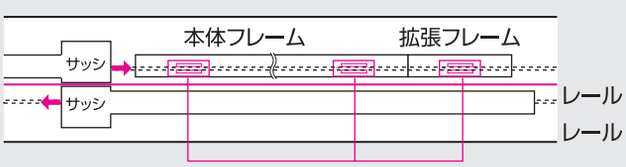
【底面から見た図】



レールガイドの向きを合わせる!

2 サッシに設置する場合は、必ずフレームのレールガイド側が、サッシのすれ違い側にくるように設置してください。

【ふかん透視図】

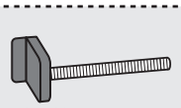


レールガイド側をサッシのすれ違い側に!

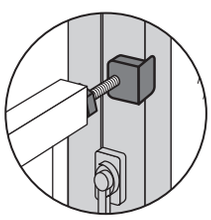
3 室内壁面に設置する場合は、レールガイドを外して使用しますので、ゲイトはどちら向きにでも設置できます。(15ページ参照)

サッシ用取付ボルトについて

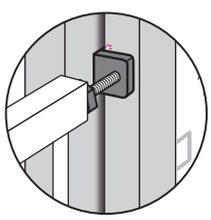
サッシ用取付ボルト



右図のように、ボルト台座のL型部分をサッシの中央部に引っかけて突っ張ることで、屋外側への転落防止を目的に開発されたサッシ専用の取付ボルトです。



室内側サッシに取り付けた状態



屋外側サッシに取り付けた状態

ご使用前の安全点検

⚠ **重要** 必ずご使用前に、正しく設置されているか点検してください。

ご使用前の安全点検	確認
ゲイトに、ガタツキはありませんか?	
すべての取付ボルトに、ゆるみはありませんか?	
ドアパネルを閉じた状態で、すべてのロックピンがかかっていますか?	
レールガイドはしっかりとレールにはまっていますか?	
ゲイト本体が、壁面・床面にたいして直角になっていますか?	
ゲイト本体は、床面に接するように取り付けられていますか?	

⚠ **警告** 点検を行ない、ひとつでも問題があれば、もう一度取り付けをやりなおし、正しく設置しなおしてからご使用ください。

日常の安全点検とお手入れ

⚠毎日ご使用になる前に、必ず安全点検(上記)を行なってください。

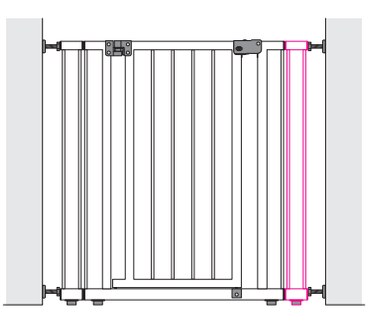
⚠ゲイト本体や部品が破損したら、ただちに使用を中止してください。

■汚れた際は、中性洗剤・ぬるま湯を使い、布かスポンジで表面を拭いてください。

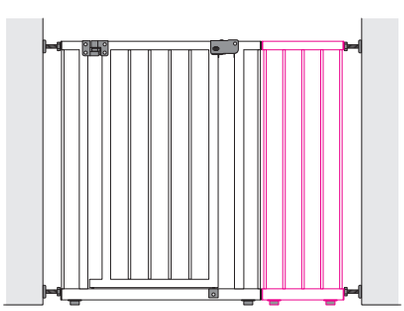
より広い間口に設置する時 (別売)拡張フレーム・ワイドパネル

別売の専用拡張フレーム・専用ワイドパネルを追加することで、下記の間口にも設置が可能になります。

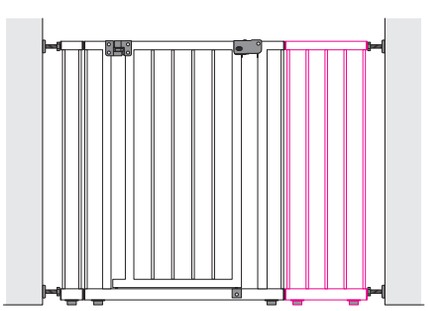
本体+拡張フレーム + 拡張フレーム
92~100cm



本体 + ワイドパネル
104~114cm



本体+拡張フレーム + ワイドパネル
114~122cm



※拡張フレームのご使用は2本までです。

サッシ用取付ボルトが使用できるサッシの条件

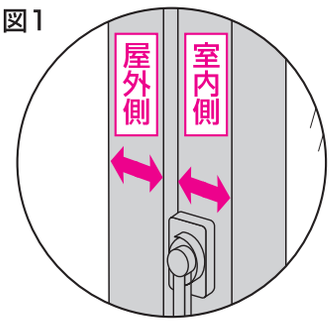
⚠注意

サッシ用取付ボルトは、サッシ中央部の柱の厚さや形状、錠の位置などにより、使用できない場合や、設置するサッシ（室内側・屋外側）が限定されます。
設置する前に、必ず以下の「使用できるサッシの条件」をよくお読みの上、条件に当てはまらない場合は、通常の取付ボルトをご使用ください。

①～③の条件をよくお読みの上、条件に合致するかどうか十分にご確認ください。

条件① サッシ中央部の厚さを測ってください!（図1）

図1



●室内側の厚さが33mmである。

はい → **条件②へ**

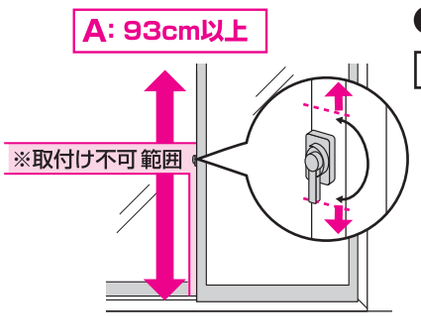
●屋外側の厚さが30mm以上ある。

はい → **条件③へ**

いいえ の場合
サッシ用取付ボルトは使用できません。通常の取付けボルトを使用します。
（13ページへ）

条件② サッシ錠の高さは、サッシレールから86cm以下、あるいは93cm以上ですか?（図2）

図2



●A・Bいずれかに合致する。

はい 室内側サッシに設置可能です。
（9ページへ）

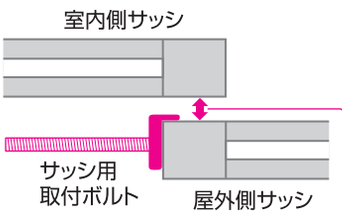
B: 86cm以下で、錠の厚さが20mm以下※

※錠の厚さが20mm以上の場合、ゲイトを設置すると施錠・解錠ができない事があります。必ず施錠・解錠ができるか確認してください。

いいえ の場合
サッシ用取付ボルトは使用できません。通常の取付けボルトを使用します。
（13ページへ）

条件③ 2枚のサッシの合わさり部のすき間は、3mm以上ありますか?（図3）

図3



●合致し、サッシの開閉・施錠ができる。

はい 屋外側サッシに設置可能です。
（11ページへ）

★このすき間が3mm以上必要です！

※必ず、サッシ用取付ボルトを左図の様に当ててみて、実際に開閉・施錠ができるか確認してください。開閉・施錠ができない場合はサッシ用取付ボルトは使用できません。

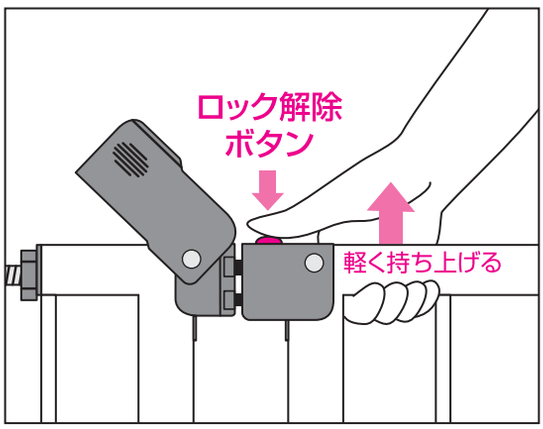
いいえ の場合
サッシ用取付ボルトは使用できません。通常の取付けボルトを使用します。
（13ページへ）

ご使用方法

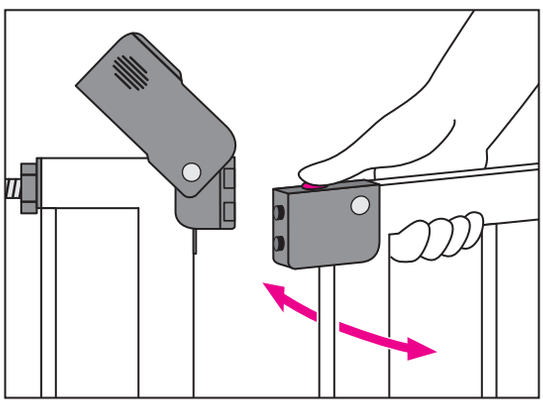
①扉を開ける

❶ロックカバーを上げます。
❷ロック解除ボタンを押しながら、ドアパネルを少し持ち上げると扉が開きます。

※ドアパネルは前後どちらでも開けることができます。



⚠警告 扉を開閉する際、ドアパネルを強く持ち上げないでください。ゲイト本体が持ち上がる場合があり、大変危険です。

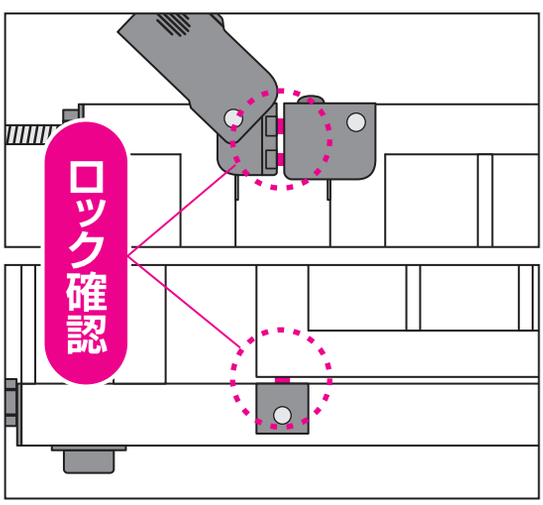


⚠警告 窓を閉めたまま扉を開閉しないでください。ガラスが割れてケガをするおそれがあり、大変危険です。

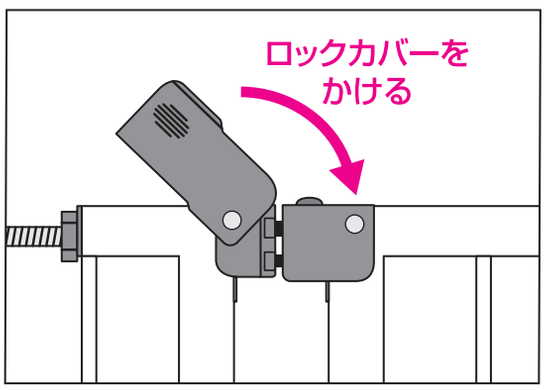
⚠警告 開閉時に扉に体重をかけないでください。破損するおそれがあり、大変危険です。

②扉を閉める

❶ドアパネルを本体フレームに戻せば、「カチッ」と音がして扉が閉まり、上下のロックピンがかかります。
❷確実に閉まっていることを確認の上、必ずロックカバーをかけてください。



⚠注意 手や指などを挟むおそれがありますので、お子さまが近くにいないことを確認してから、扉の開閉を行なってください。



⚠危険 扉を閉じて上下のロックピンがかかっていることを確認した後、必ずロックカバーをかけてください。ロックカバーをかけていないと、誤ってお子さまがゲイトから出るおそれがあり大変危険です。

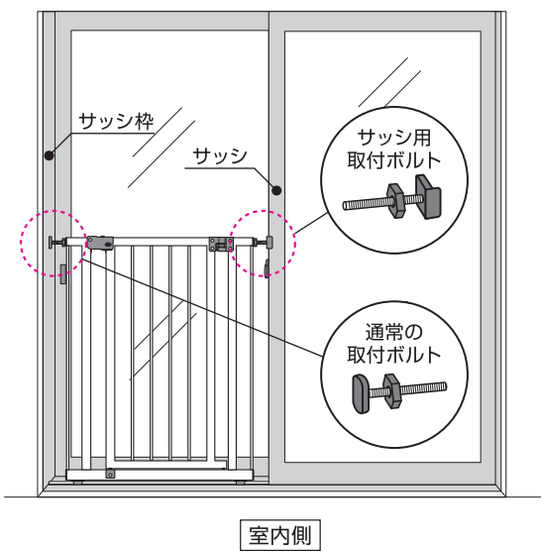
サッシ用取付ボルト使用 室内側サッシに設置する

取り付け手順 ※手順はおもに拡張フレーム使用時の図で説明しています。

①取付ボルトをゲイトに差し込みます。※取付ボルトの種類にご注意ください。

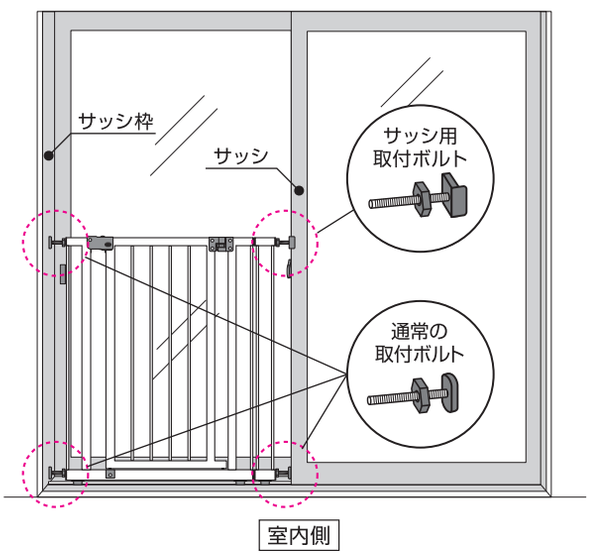
A 拡張フレームを使用しない場合

❶本体フレーム側面上部の穴(2ヵ所)に、調節ノブを付けた取付ボルトを差しこみます。
❷図のように、サッシ側にはサッシ用取付ボルトを、サッシ枠側には通常の取付ボルトを差し込みます。
※下部の取付ボルトは不要です。



B 拡張フレームを使用する場合

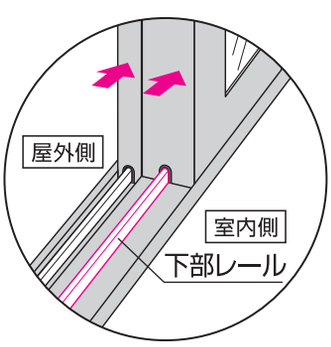
❶本体フレームと拡張フレームの側面上下の穴(計4ヵ所)に、調節ノブを付けた取付ボルトを差し込みます。
❷図のように、サッシ側の上部穴にはサッシ用取付ボルトを、他の3ヵ所には通常の取付ボルトを差しこみます。

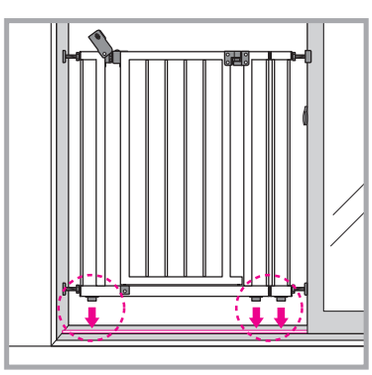


②レールガイドをサッシの室内側の下部レールにハメ込みます。

⚠注意 7ページの説明をよくお読みの上、レールガイドの向きに注意してください。

❶窓を2枚とも全開にします。
❷ロックカバーを上げます。
❸図のように、レールガイドを室内側の下部レールに、真上方向から最後までハメ込みます。
※レールが破損する場合がありますので、レールガイドをレールにハメ込んだ状態で、ゲイトを前後に傾けないでください。





③調節ノブを手で軽く締めて、ゲイトを仮留めします。

❶調節ノブを、手で上下・左右バランス良く締めて行き、ゲイトを仮留めします。
❷仮留めの状態で下記のことを確認し、問題がなければ④に進み、調節ノブをしっかりと締めてください。
★レールガイドがレールにしっかりと最後までハメ込まれているか？
★ゲイトが水平・垂直で傾きがないか？
★サッシの開閉、解錠・施錠に支障がないか？

この商品は細心の注意をもとに製造されておりますが、
万が一商品に欠陥があった場合は、ただちに使用を中止し当社までご連絡ください。

保証について

●保証書は（株）日本育児または、販売店で所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。

●保証期間は、お買い上げの日から1年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

中古市場で購入したもの、もしくは未使用でない譲渡品は、保証対象外になります。

生産物賠償責任保険について

当社はサッシゲイトを安心してお使いただけるように、品質については細心の配慮をいたしております。この取扱説明書に従って正しく取り付け、正しい方法でお使いになったにもかかわらず、製品の欠陥により、製品の欠陥により、怪我を負ったり財物が破損した場合は、その損害を補償する為に保険会社と「生産物賠償責任保険」の契約を結んでおります。事故が発生した場合は、ただちに当社までご連絡ください。

●ご注意：この制度は、傷害などの身体的な損害と財物の破損についてのみ補償するもので、製品の品質について保証するものではありません。

保　証　書

本製品は当社の厳密な品質検査に合格したものであり、その品質を保証いたします。お買い上げ日より1年以内に取扱説明書の注意書にしたがって、正常な使用状態で使用して故障した場合には、下記の保証規定により無償修理いたします。

保 証 規 定

1.保証期間はお買い上げ日より1年間です。
2.修理は当社、またはお買い上げの販売店にて受け付けます。
3.修理の際は必ず保証書をご提示下さい。ご提示のない場合は有料となります。
4.お買い上げ年月日、お客様の氏名、住所、販売店名のご記入がない場合、又はそれらを訂正した場合は無効となります。
5.次のような場合には保証対象外となり、保証期間内でも有料となります。
　●使用法の誤り、または乱用による故障。
　●不当な修理、改造、分解掃除等による故障。
　●天災、火災による故障及び損傷。
6.保証対象外の修理品の運賃等、諸掛り費用はお客様にてご負担願います。
7.本保証書は再発行致しません。大切に保存して下さい。
8.本保証書は日本国内においてのみ有効です。

品名	サッシゲイト	保証期間	1年	販売店	住　所
お買い上げ日	年　月　日				
お客様	ご住所	見本			店　名
	ご芳名　様				TEL

本製品に関するご意見・ご質問がございましたら、下記連絡先までお問い合わせください。

輸入発売元
株式会社日本育児
本　　社　〒541-0059　大阪市中央区博労町 3-6-1　御堂筋エスジービル 3F　TEL.06-6251-7420
東京営業所　〒103-0002　東京都中央区日本橋馬喰町 1-6-6　吉野第二ビル 3F　TEL.03-5644-7137
http://www.nihonikuji.co.jp